



創作のかたわら仲間との会話も楽し～町民センターで

(広報紙中にある写真を欲しい方には
おあげします)

発行／五城目町

編集／文書広報課 ☎ 0188 (52) 2100(代)

印刷／湖東印刷所

町の生涯教育

陶芸教室

陶芸教室が発足して今年で十五年になります。この教室は、一年で卒業というわけではないので、みんなで生涯学び続けることができます。

今では四十五人が生徒として登録されています。また、教室が開かれるのが平日の日中とあって、生徒のほとんどが家庭の主婦。

教室の運営は年間計画にそって行われ、月二回くらいの割合で開かれます。また、新しい知識や技術を修得するため、年に数回は町外に出かけて学習します。

これまで森岳の石倉焼をはじめ白岩焼、瀬沢焼などの窯元(かまもと)を訪れ、専門家の指導を受けました。ですから生徒が作る末茶茶わんや花器などの作品の中には、素人離れした出来栄のものもあります。

川をきれいに



戸村堰頭首正

町内会長・町政協力員合同会議

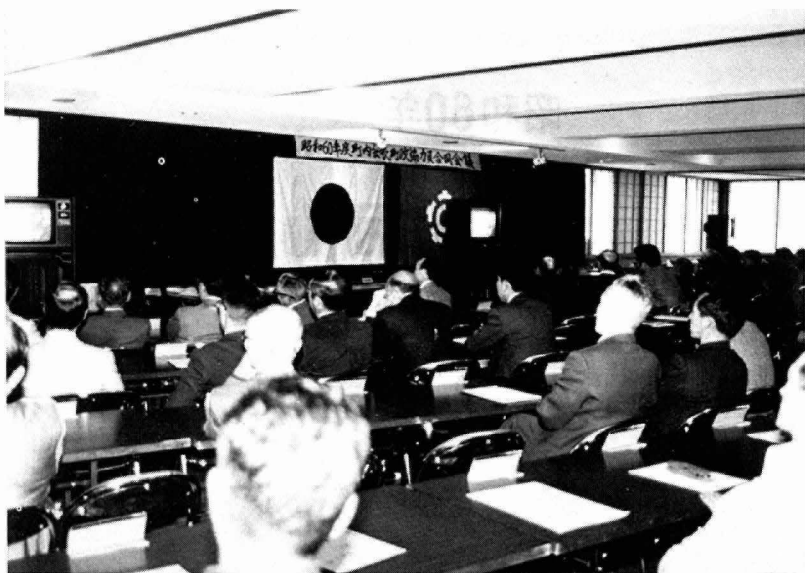
町当局と意見の交換

広報ビデオを紹介

昭和六十年年度町内会長・町政協力員合同会議は、四月二十五日午前九時半から役場正庁で、町内会長六十九人、町政協力員四十二人が出席して開かれ、住みよい暮らしよい町づくりについて、町当局と意見を交換しました。町当局からは、町三役をはじめ教育長、各部室課長などが出席、町内会からの要望や質問に対して意見を述べました。

会議は助役の開会のことばで始まり、部室課長などの自己紹介、町長のあいさつと続きました。

あいつに立った町長は「皆様方には言わば、町政の一翼



広報ビデオは3台のテレビに同時に上映して紹介されました

を担っていただいているわけで、心強く思うとともに感謝の意を表するものであります」とお礼を述べた後、昭和六十年年度の町政運営の概要について約四十分説明しました。

その後、出席者に冊子にして配付した「町から町内会への協力依頼および連絡事項」について、関係部室課長が説明。このほど完成した広報ビデオ「城のある町五城目」についても、製作のねらいや利用方法について説明があり、各種会合やグループ活動に、積極的に利用していただくよう各町内会に連絡されました。

また、昼食休憩時間を利用して、このテープの中から「秋冬編」の一巻が上映されました。会場の正庁には、三台のテレビが備えられ、それぞれのテレビに同時に同一画面を写し出す方法で紹介されました。

午後からは町内会長会の会長である石川誠一郎さんを座

長にして、町当局との意見交換が行われました。

また、会議の開催に先立ち、前もって各町内会から提出された意見、要望についても、関係部室課長から意見が述べられました。

前もって提出された意見、要望は全部で九十五件。その中で道路の改良や舗装などに関するものは二十八件、側溝、排水路などに関するものは二十一件で、これに用水路と河川に関するもの十件と、林道、作業道などに関するものを加えると全体の約三分の二を占めています。

このほか多かった事項は、街灯、防犯灯に関するもの七件、集会所などの施設に関するもの五件となっています。



建物の2階を見学する皆さん

町内会長、町政協力員 リバーサイド磯ノ目を見学

町内会長・町政協力員合同会議の休憩時間を利用して、町内会長と町政協力員の皆さんが、五城目共同福祉施設「リバーサイド磯ノ目」を見学しました。リバーサイド磯ノ目の建物本体はすでに工事を完了していますが、備品の搬入と外構工事はこれからという状態。それでも見学した皆さんは、ユニークな構造に感心していました。

山の事故に気をつけて

山菜とりのシーズンに入りました。山に入り道に迷ったり、クマに襲われたりする事故が今年は特に懸念されます。四月二十四日、役場会議室で町遭難対策委員会が開かれ、関係機関、団体などで遭難事故防止活動を繰り広げ「山の悲劇」を繰り返さないよう呼びかけることにしました。

一方、捜索費用も年々値上がり傾向にあり、運よく救出されても、場合によっては随分高いタケノコやワラビにつくこととなります。

山菜とりの心構えとして次

のを守ってください。

①単独行動は極力避ける。

②食糧は多めに持つ。

③グループのときは集合時間と場所をよく打ち合わせる。

④クマと出遭ったときは、ラジオをつけるか大声を出し、食べ物を捨てながら逃げる。

⑤道に迷ったときは、無理に歩き回らず救助を待つ。

また、今の時期は空気が非常に乾燥し、火災が起りやすいので、タバコの吸いながら、たき火をした時の後始末など、山火事防止も十分注意してください。

用水路

事故防止に協力を 町と土地改良区で協議

農業用水路や、ため池など農業用施設の水難事故が毎年各地で発生しており、各土地改良区や水利組合では、地域ごとにその防止に努めています。

このほど町と大川、五城目戸村大由沢、真崎堰の各土地改良区による協議会が開催され、土地改良施設の維持管理と安全対策を一層強化していくため、管理者として安全施設の整備と態勢の充実、水難事故の防止を図ることを申し合わせました。

また、農業用施設の水難事故は、不注意による場合が多いため、町内の皆さんに注意を呼びかけるとともに、特に次の点について協力をお願いしています。

①防護施設があっても事故が

発生しています。用水路の近くでは子供を遊ばせないように。

②幼児の事故は親の保護義務が問われます。子供から目を離さないように。

③危険と思われる場合は、他人であつても一声かけてください。

④用水路にゴミを捨てると用水機能が低下するだけでなく、降雨時には宅地などの

⑤用水路は農業だけでなく洗い場、防火用水、流雪溝など日常生活にも利用されています。また、自然浄化、地下水の水源涵養（かんよう）機能を持っています。雑排水のタレ流しはしないでください。

⑥用水路は生活環境、自然環境の一部であり、景観に対する配慮が必要です。用水路を構造物、その他物置き場などで不法専用はしないでください。

本町でもツツガムシ病発生

早期診断・治療が大事

本町で五月上旬、ツツガムシ病患者ができました。昨年も富津内地区で一人発病しています。このように今では、ツツガムシは県内全域に生息しているものと考えられています。

また、ツツガムシ病患者は年々増加の傾向にあります。これから夏にかけて特に注意

が必要で、現在のところ感染を防ぐワクチンはありませんが、仮りに発病しても、早期に適切な

治療が行われますと、容易に治る病気です。

どおりですが、「健康まつり」の内容については無料となっております。五月二十八日（六月二十日）午前十時～午後四時

ツツガムシなど地域活動を行う場所

農村環境改善センター

健康まつり開催

などにも積極的に活用されるよう呼びかけています。

「健康まつり」の内容は次のとおり。

- ▽日時 五月二十八日（六月二十日）午前十時～午後四時
- ▽場所 ツツガムシなど地域活動を行う場所
- ▽内容 農村環境改善センター
- （1）心がなごむ「さつき鑑賞」ができます。
- （2）気持ちほつらつ「健康体操」を指導します。
- （3）健康な体をつくる「薬草健康風呂」を用意してあります。
- （4）笑いで健康「映画鑑賞」もできます。
- ▽問い合わせ先 農村環境改善センター（担当・伊藤敏雄）75-5067

希望によっては、記念撮影（有料）をいたします。

また、体のある部分に異常な水疱やかサブタがあつて、発熱してきたときなどは、その部分を医師に見てもらってください。

石井さん公民館に 図書と書棚を寄贈



図書室に備えつけられた図書

本町の小倉出身の石井秀雄さんから、このほど公民館に図書と書棚が寄贈されました。石井さんは、石井久子さん（秋田市住）の二男で、現在、仙台市に勤務。

寄贈された図書は、「日本文学全集」七十巻をはじめ、単行本など合わせて

百六十一冊。また、書棚二個も寄贈されました。公民館では早速、町民センター二階の図書室に備えつけ、広く町内の皆さんに利用していただけるように配慮しました。

春ひなの 衛生対策

家畜の衛生

春先におこりやすい疾病は、いろいろありますが、その中で最も懸念されるニューカッスル病と、平飼いの飼育で発生しやすいコクシジウム症について述べます。

ニューカッスル病は法定伝染病で、緑便、奇声、呼吸器症状などを呈しその伝播力は強く、ひとたび発生すると被害が多発します。今年には例年になく国内発生が多く、四月十一日現在で七県十五戸、七万九千六百六十二羽におよんでおります。ニューカッスル病は、育雛期に三、四回、その後四、六か月ごとにニューカッスル病ワクチンの接種により予防できます。

次に腸内に寄生する原虫によっておこるコクシジウム症は、原虫が腸内で増殖し糞便中に侵入し排泄され、他の鶏に経口的に感染し、増殖と排泄をくり返し、病鶏を広めます。下痢、血便等の症状を呈して、衰弱し死亡します。

予防は、鶏舎内に原虫を持ちこまないこと。特に梅雨時は床の乾燥を保ち、空舎時には徹底して水洗および熱消毒を行い、さらにオルソ剤を散布したあと十分乾燥させることです。

カメラレポート



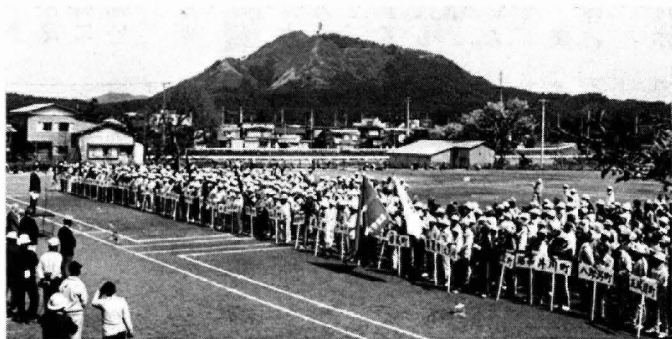
新任職員が交流会

町内官公署から15人参加

町では4月26日、町内の官公署などに転入、あるいは新任者として赴任した職員を招いて、交流会を開きました。

この交流会は、新任者に町の姿を把握していただくとともに、お互いの親睦交流を図ることにより、行政効果の向上とその充実・発展に役立ててもらおうというもの。初めての試みでしたが、警察署や営林署、保健所などの職員15人が参加しました。

参加者たちは、恋地山荘、赤倉山荘、五城目城、雀館運動公園など町内の施設を見学した後、町民センターでの懇親会で親睦を深めました。



県内から90チームが参加（開会式）

東日本大会へ4チーム

全県ゲートボール大会

第5回春季全県ゲートボール大会五城目大会兼東日本ゲートボール大会秋田県予選は、5月1日、観桜会でにぎわう雀館公園下の運動広場で行われました。

全県から90チームが参加。決勝トーナメントに勝ち残ると9月3日、4日、岩手県雫石町で開かれる東日本大会に参加できるとあって、予選リーグから白熱したプレーが展開されました。

本町からは8チームが参加。準優勝をはたした五城目球進会をはじめ、五城目大川A、大川B、五城目湯ノ又Aが決勝トーナメントに進出し、東日本大会の出場権を獲得しました。優勝は男鹿市船越チーム。



リバーサイド磯ノ目を見学

お知らせ

分収造林の 契約者を募集



消費者の日
5月30日

秋田営林局では、分収造林の契約者を募集しています。

分収造林対象地は県内四十カ所で、一人で二カ所以上応募できますが、個人の場合はできるだけグループで申し込んでください。植栽予定樹種はスギ。

詳しい内容は秋田営林局（☎3612028）か五城目営林署（☎5214120）におたずねください。

▽契約の面積

一契約における分収造林面積は、原則として一ヘクタールを下回らない面積で、三年間において造林が可能な面積。

▽分収割合

契約者七〇パーセント、国三〇パーセントが標準。

▽申し込み期限 六月八日

▽申し込み先

・秋田営林局管理課
・五城目営林署庶務課

海外研修に

参加しませんか

今年は国際青年年というところで、町では昭和六十年代秋

田県海外研修事業に参加する青年を募集しています。内容は次のとおり。

▽訪問国

西ドイツ、デンマーク、フランス

▽実施期日

八月二十五日～九月七日（十四日間）

▽参加対象

おおむね二十歳から三十歳の青年

▽経費負担

本人 三十万円
市町村 二十二万円
県 二十五万円

合計 七十七万円

▽募集締切日 五月三十一日
▽申し込み、問い合わせ先 公民館 ☎5214411

管工事技術者試験

受付は6月4日まで

建設業法に基づく「一級管工事技術者試験」および「二級管工事技術者試験」が次のとおり行われます。

▽申込受付期間

五月二十一日～六月四日

▽試験日

（一）一級試験 九月一日
（二）二級試験 九月二十二日

▽問い合わせ先

東京都千代田区平河町 二一六二二
ランディック平河町ビル内
財団法人・全国建設研修センター・管工事試験課

☎03（230）1621

経済の活性化を考える

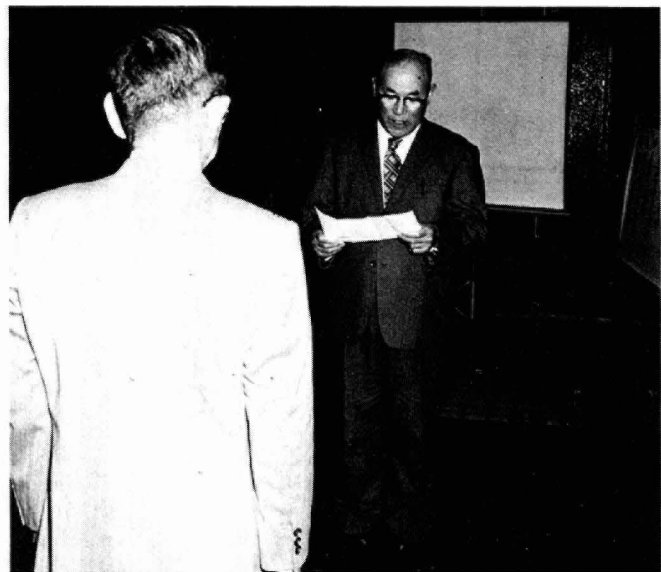
本年度最初の文化経済懇話会

本年度1回目の文化経済懇話会が、4月23日、午後2時半から役場正庁で約100人が参加し開催されました。

今回は、「地域経済の活性化対策」と題し、地方経済活性化対策の専門化として中央学会などで活躍している伊藤善市氏（東京女子大学教授）を講師に迎えて行われました。

伊藤氏は、大分県の「一村一品運動」などを例にとりながら、学ぶ姿勢が大切であることを強調。

伊藤氏の広い知識をもとにした講演内容に、参加者は、我が町の活性化対策はどうあるべきなのか、真剣な眼差しで聞きっていました。



学院生を代表して誓いのことばを述べる加藤直治さん

自主学習を目指して

率浦大学院卒業生が対象

自主交齡大学院開講式が、4月30日、午前10時から町民センターで50人近くのお年寄りが参加して開催されました。

この自主交齡大学院は、公民館が毎年開校している率浦大学院の卒業生たちが、自主的学習活動の場として誕生させたもので、現在の生徒数は64人。

今年度は「潤いと生きがいのある自主学習をめざして」をテーマに、自然観察、研修旅行、レクリエーションなどを計画しています。

率浦大学院の卒業生であれば、どなたでも入学できます。連絡先は公民館（☎52-4411）まで。



伊藤東京女子大教授が講演

お知らせ

中国残留日本人孤児の 身元引受人を募集

国では、身元がはっきりしない中国残留日本人孤児の身元引受人となられる方を求めています。

この孤児とは、身元が判明しないまま、永住の意思をもって帰国した人、あるいはその家族です。

身元引受人の仕事は、孤児あるいはその家族を近隣に住まわせるなどして、一日も早く自立して生活が営めるように手助けすることです。具体的には日常生活上の諸問題の相談、自立更生に必要な助言や指導などを行うことです。

▽身元引受期間
身元引受の開始日から三年以内

▽身元引受手当の支給
身元引受人に対して、身元引受期間中月額一万二千元の手当が支給されます。

国では、孤児あるいはその家族の置かれている立場を理解し、一日も早く日本の社会に慣れるよう、熱意をもって接してくれる方を求めています。

身元引受人となることを希望される方、あるいは詳しい内容を知りたい方は役場住民課窓口へご相談ください。

新しい知識や技術 成人訓練で学べます

県の公共職業訓練施設や認

定訓練施設では、広く県民を対象にした職業訓練である成人訓練を行います。

指導には、民間企業の第一線研究者・技術者や、公共・認定訓練校指導員などの専門家があたり、充実した教材と設備のもとで、理論と実践を一体化した訓練が行われます。

訓練の日程は、比較的短時間で終了するよう組まれており、また、訓練のコースも新しい知識や技術、仕事に必要な技能について、基礎から高度な内容に至るまで、多数設定されています。

詳しいことは、県職業訓練課（☎60-1731）へ。

馬場目岳清掃登山 参加者を募集

町では、馬場目岳清掃登山の参加者を募集しています。

この登山には、健康上支障のない人であれば、どなたでも参加できます。参加を希望する方は、五月二十七日までに役場商工観光課へ申し込んでください。

▽日時

五月三十一日（小雨決行）午前八時に役場前出発（集合場所・役場）

▽参加費 一人千円（バス代）

▽募集人員 四十人（先着）

▽日程

役場（午前八時発）→銀の沢登山口→山頂（午前十一時半着）→銀の沢登山口→役場（午後四時半着）

あなたの人権を守ります

六月一日は、人権擁護委員法が施行された日です。昭和二十四年六月一日に人権擁護委員法が施行され、国民の基本的な人権を擁護し見守る、いわば民間人による人権の番人の機関が誕生したのです。これが人権擁護委員制度の始まりです。

全国の人権擁護委員は、六月一日を「人権擁護委員の日」と定め、この日を中心として皆さんとともに一層の人権思想の啓発に努めることにしています。

人権擁護委員への相談は無料ですし、相談事項は一切秘密に扱います。土地や家屋の権利問題、扶養、相続、登記、交通事故などでお困りの方は気軽に相談してください。

法務大臣が委嘱した本町の

人権擁護委員は、次の方たちです。

佐藤勝太郎	(仲町)	☎ 52	―	2	3	1	0
千田 良次	(岡本)	☎ 52	―	4	3	5	7
川村 アヤ	(川原町)	☎ 52	―	3	6	3	5
千田 善一	(西野)	☎ 52	―	9	2	3	0
石井 良治	(富田)	☎ 54	―	2	2	5	0



第二回文化経済懇話会

5月28日 役場正庁で

第二回定例文化経済懇話会は、五月二十八日（火）午後一時半から三時半まで



近藤富枝

役場正庁で開かれます。

講師には作家の近藤富枝氏をお招きし、本町出身の文学者「矢田津世子の文学」と題して講演を行います。

受講料は無料。また、ない絶好の機会でもあり、町では町民多数のご聴講を期

待しています。

近藤氏は、本町出身の文
学者、矢田津世子の生涯を
描いた「花蔭の人」の作者
であり、またNHK連続テ
レビドラマ「本日も晴天な
り」の主人公は、原作者で
ある近藤氏の半生を描いた
ものです。

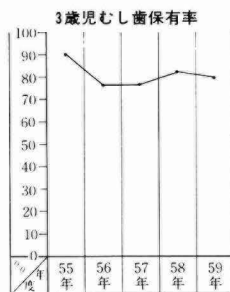
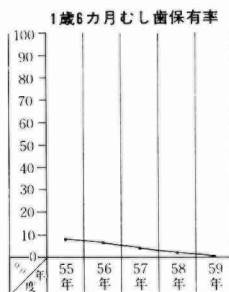
大正十一年生れ、六十三歳。
東京都杉並区在住。

矢田津世子の文学を語る

作家・近藤富枝氏が講演

年 度	むし歯保有率	1人当たりの むし歯の数
昭和55年度	5.9%	0.027本
56年度	5.6%	0.022本
57年度	4.5%	0.021本
58年度	1.9%	0.019本
59年度	0	0

年 度	むし歯保有率	1人当たりの むし歯の数
昭和55年度	90.1%	6.0本
56年度	75.4%	6.0本
57年度	75.8%	5.1本
58年度	81.9%	5.6本
59年度	80.0%	5.4本



むし歯のない元気な子どもに育てよう

―もし歯予防は育児です―

實踐指導研究部

町では、むし歯予防を目的として、妊婦から乳児、幼児までの全般にわたり指導をしております。

月児健診や三歳児健診の時に、歯科健診を行っております。

妊婦に対しては、丈夫な歯づくりのための栄養指導です。乳児や幼児に対しては、口の中の清掃、歯の手入れ、正しい食事のとり方望ましいおやつとの与え方などです。一歳一カ月児の健康相談の時は、正しい歯の手入れおよび正しいおやつとの与え方について、実習をまじえてお母さんがたに指導しております。一歳六カ

るとむし歯の保有率も、人当たりのむし歯の数も、徐々に減ってきております。特に、一歳六カ月児健診では良い結果がでております。これは、お母さんがたの努力のあらわれと思われまします。しかし、次のグラフをみると、一目でわかると思います。が、一歳六カ月から三歳までの間に、急激にむし歯が増えております。この間

親と子の
健康な歯づき方をめざして

に、お母さんがたが最も気をつけて子供を育てなければならぬと思います。

子どもさんが健やかに育つことを願うのは、親として当然のことです。そのための基本は、子どもの歯を丈夫に育てることです。乳歯は発育期の成長にかかわるだけでなく、永久歯に影響し一生の健康を左右します。その子どもたちの歯にむし歯が増えたのは、食生活が大きく関係しております。お母さんがたの心がけや育て方により、むし歯を予防することができます。妊娠中から乳児、幼児まで一貫して、良い食習慣を身につけ、日常生活のしつけや口の中の清潔に心がけ、正しい歯の手入れを身につけ、実行するようにがんばりましょう。

▽哺乳ビンむし菌に注意
哺乳ビンに甘い果汁や乳酸飲料を入れて飲ませているうちに、前菌が酸味や糖分で溶けてしまう形のむし菌です。果汁や乳酸飲料がいけないのではなく、不規則に与えるのが悪いのです。規則的に与え、飲ませた後は菌の清掃に気をつけることです。水を飲ませたり、番茶を飲ませるのもよい方法です。

五城目町親と子の健康な
歯づくり運動推進委員会

町内の話題

五老連定期
総会を開催

連絡協議会を設置

五城目町老人クラブ連合会の定期総会は、五月四日午後一時半から役場会議室で、会員五十二人が出席して開催されました。

総会では、昭和五十九年度の事業報告と歳入歳出決算が承認され、六十年度の事業計画案と予算案が原案どおり可決されました。

続いて規約の一部改正案が審議され、原案どおり可決されました。これにより、六十年から各地区に連絡協議会がおかれ、各地区の連絡調整にあたり、同連合会の活動をより活発にするため専門部会が設置されることになりました。各地区の連絡協議会長と部会の部長は、理事があたることになっています。

また、役員の改選が行われたように決定しました。

△副会長 中村清次郎(新町)
△副会長 工藤豊治(浅見内)
△理事(十四名)
鳥井浩太郎(上樋口)
五城目地区：中村清次郎、伊藤一実、佐藤久之助、馬川地区：鳥井浩太郎、館岡一郎、馬場目地区：小玉久治郎、石井佐市郎、伊藤作治

・富津内地区：原田賢治郎
・内川地区：工藤豊治、沢田石五蔵
・大川地区：北島兼太郎、島崎善治郎
・森山地区：加藤栄太郎
△会計監査(二名)
村上(一五城目)
小玉賢之助(富津内)

▽各地区連絡協議会長
・五城目地区：伊藤一実
・馬川地区：鳥井浩太郎
・馬場目地区：小玉久治郎
・富津内地区：原田賢治郎
・内川地区：工藤豊治
・大川地区：北島兼太郎
・森山地区：加藤栄太郎

なお、専門部会はこの後開催される役員会で審議決定の予定。

異業種で
組合を結成

秋田技能社

町内の板金、建具、左官、電気設備工事などの住宅関連業者八人が、四月十二日、協同組合「秋田技能社」を結成しました。

同組合の理事長は、板金業を営む中村成人さん(雀館・五四歳)。

八人は五十七年から任意団体として活動しており、協同受注、情報の交換、技術の開発などを重ねてきました。昨年、県中小企業団体中央会が、

通産省中小企業庁の進めている異業種組織化推進事業に沿って指導、育成し、法人化の運びとなったもの。異なった業者による協同組合は県内では初めてです。

今後、住宅建設が増加に伴って移住するという見通しから、お互いの連携を深め受注を拡大することがねらい。

理事長の中村さんは「増改築は工事内容が一業種にとどまらないことがほとんど。組合組織にすることで情報量も増え、仕事を他の組合員に回すなど効果的な受注がでる」と話しています。また、「さらに広く異業種間の交流を深めながら、新しい時代の新しい産業の掘りおこしの可能性に向かって努力したい」としています。

組合事務所は、中村さんの

雀館公園を
清掃奉仕

中川原子ども会

全町で春さき一斉大掃除が行われた四月二十八日早朝、中川原子ども会の皆さんが、観桜会の会場となっている雀館公園のクリーンアップを行いました。

この清掃奉仕は、きれいな公園でお花見を楽しめるようにと計画されたもので、子供たちのお母さんたちも協力。一時間半ほどかけて園内すみずみまできれいにしました。

観桜会の開催期間とあって、集められたアキカンなどのゴミは、町のゴミ収集袋で三十袋もありました。



園内をそうじする子どもたちとお母さん



全県ゲートボール

五城目球進
会が準優勝

5月1日

雀館運動公園広場

▽決勝トーナメント一回戦
八郎潟 15-10 秋田市勝平
十文字GB 18-8 大川B
クラブ

太田町A 13-9 飯田川B
大館天寿会 11-9 象潟A
五城目 12-7 能代市栄町

球進会 12-7 長生会
秋田市大住 9-6 五城目
湯ノ又A

大館 17-13 鹿角市米代
上ノ台野 17-13 象潟町B
男鹿市船越 12-10 象潟町B

八郎潟寿山 17-9 八竜B
五城目 19-5 飯田川町A
大川A

田代A 17-8 二ツ井高丘
千畑村塚 13-8 山内村B
北栖岡寿会 15-11 阿仁町A

西仙北町 15-12 田代延寿会
上ノ台 15-12 田代延寿会

▽同二回戦

八郎潟 18-12 小坂若草
太田町A 10-10 十文字GB
五城目 11-10 大館天寿会

球進会 11-10 大館天寿会
大館 16-10 秋田市大住
上ノ台野 16-10 秋田市大住

男鹿市船越 12-11 八郎潟寿山
五城目 11-9 田代A
大川A

千畑村塚 12-12 北栖岡寿会
西仙北町 16-14 太田町B
上ノ台

▽同準々決勝
太田町A 21-10 八郎潟
五城目 14-13 大館

球進会 14-13 上ノ台野
男鹿市船越 13-10 大川A
西仙北町

上ノ台 16-13 千畑村塚
▽同準決勝
五城目 13-11 太田町A

球進会 13-11 太田町A
男鹿市船越 15-10 西仙北町
上ノ台

▽同三位決定戦
太田町A 20-5 西仙北町
上ノ台

▽同決勝
男鹿市船越 14-12 五城目
球進会

不正大麻・けし撲滅運動5月1日〜6月30日

自生する大麻・けしを

発見したときは保健所へ通報

いそのめ風土記

④

馬場目岳



馬場目岳のブナ林
昭和59年10月18日撮影（役場文書広報課）

五城目町の最高峰は、秋田市との境界にある馬場目岳（標高一〇三七・四M）である。約二十年前、山頂部の植物調査をするため、当時の五高教諭熊谷隆先生に案内していただき登山した。秋田市からのルートもない時代だった。一日市から電車に乗り、営林署のガソリンカーに乗せてもらいながら登った大倉又沢林道は長い長いコースであった。それでも山頂で発見したミヤマネズ、アオノツガザクラに一同は感喜した。前者は駒ヶ岳や八幡平でなければならぬ。山頂付近は、イチイ、クロベ、ツノハシバミ、ミズナラ、マルバマンサク、アカミノイヌツゲ、ハクサンシャクナゲなどの低木林でその南斜面に小規模の湿性植物であることがわかった。秋田県では唯一カ所の産地である。

草原にお花畑があり、ヌマガヤ、ニッコウキスゲ、ノギラン、タチギボウシ、イワカガミ、ゴゼンタチバナ、ツマトリソウなどの高山植物が生育している。

その馬場目岳も最近には林道が整備され、秋田市仁別コースもこちらの光沢コースも下車して二時間足らずで楽しめるようになった。山頂付近は太平山県立自然公園に属しブナ林も残っているが、公園の境界ギリギリまで伐跡が食い込み、クマもさぞ不自由になったろうと思われる。昔、馬の神の山として信仰厚かった時代は自然がそのままだったのに、約二十年振りに登ったら、登山客の多さと共に山頂部の盗掘跡に愕然（がくぜん）とした。ミヤマネズは絶滅寸前である。もしかして、「貴重だ」と発表した我々の責任かも知れない。が、あえてここに「貴重だ」と発表するのは、採取禁止の立て札よりも、五城目町の、秋田県の宝として皆で守る心を育てたいからである。珍しい野草の栽培をやめよう。また、貴重さを知らないが故の種の絶滅を防ぎたいという気持ちで、このシリーズでは五城目町の貴重植物を紹介している。

（五城目高校教諭 高橋祥祐）

6月ごみ収集日程表

「もえるごみ」

	曜 日
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町、今町、御蔵町、小池町、川原町、新町、一番町、古川町、紀久栄町、館町、中川原、樋口、岩城町	3日・6日・10日・13日・17日 20日・24日・27日
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町、矢場崎、仲町、長町、米沢町、雀館、昭辰町、大川（1区～4区）	4日・7日・11日・14日・18日 21日・25日・28日
大川（1区～4区以外の地区）、馬川地区、馬場目地区、森山地区、富津内地区、内川地区	1日・5日・8日・12日・15日 19日・22日・26日・29日

「もえないごみ」

	空ビン等・曜日	空カン等・曜日
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町、今町、御蔵町、小池町、川原町	8日・第2土	22日・第4土
新町、一番町、古川町、紀久栄町、館町、中川原、樋口、岩城町	14日・第2金	28日・第4金
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町、矢場崎	13日・第2木	27日・第4木
仲町、長町、米沢町、雀館、昭辰町、大川（1区～4区）	12日・第2水	26日・第4水
大川（1区～4区以外の地区）、森山地区、馬川地区	11日・第2火	25日・第4火
馬場目地区、富津内地区、内川地区	10日・第2月	24日・第4月

注 意 ・台所のごみ（もえるごみ）は必ずよく水切りをしてから出してください。

- ・「もえるごみ」と「もえないごみ」を混同して入れてある場合は収集しません。
- ・乾電池は、粗大ごみの時収集しますので混同しないでください。
- ・祝日および振替休日は収集しませんので注意してください。

五城目町清掃センター TEL52-9904



森山荘に
寄せられた善意
（敬称略）

- ・三月四日 理容奉仕 今町 小杉田啓一
- ・三月十日 民謡同好会慰問 井川町 沢石周一
- ・三月二十八日 天王町 石川喜代志
- ・慰問金 五万円 匿名
- ・四月十五日 理容奉仕



預善意銀行
託者

- ・四月三十日 今町 小杉田啓一
- ・フナ一〇キロ 八郎潟町 南秋海友会（会長 作山鉄郎）
- ・四月十六日 三万円 黒土 石井与八（亡母タミエ様の香典返しとして）
- ・四月十七日 五万円 上高崎 館岡晴作
- ・四月二十五日 三万円 館町 熊谷治賢（亡父安光様の香典返しとして）
- ・五月一日 五万円 新畑町 近江安司（亡母キヨ様の香典返しとして）
- ・四月二十二日 五万円 高田 小玉幸夫（亡母トエ様の香典返しとして）
- ・（亡父斌郎様の香典返しとして）